Newsletter

第一三共ヘルスケア サステナビリティ
Wellness for GOOD
第一三共ヘルスケア株式会社

各 位

2026 年 11 月 9 日（月）

セルフケア アカデミー

若年層のヘルスリテラシー向上の一助に
都内高校生を招いての「特別出張授業」を実施
セルフケア啓発動画制作でインプットとアウトプットの学びを発表

学生生活の一コマを切り取り SNS 世代らしい視点で信頼ある情報発信を目指す

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）では、若年層のヘルスリテラシー向上を目的に、高校生を対象とした「出張授業」プログラムを昨年より実施しており、本年は全国8カ所（青森、千葉、東京、静岡、福井、大阪、広島、佐賀）で展開してまいりました。このたび、東京で実施する出張授業を「特別出張授業」として位置づけ、2026年11月6日（金）に桜丘中学・高等学校（東京都北区）の高校2年生30名を招き、同学生が制作した動画の発表会を当社本社で開催しました。

本プログラムでは受講した高校生が同世代にセルフケアの大切さや実践方法を広める「セルフケア アンバサダー」となり、自ら学んだセルフケアの知識をどのように伝えるかを考え、試行錯誤しながら動画制作に取り組みました。当日は全12コマの授業のうち、動画を発表する、最後の授業となりました。

近年、若年層を中心にオーバードーズの増加が社会問題化しており、その対策の一環として2026年5月の改正薬機法では、医薬品の過剰購入や不適切な使用を防ぐため、「指定濫用防止医薬品」という区分が新設され、販売方法が厳格化されました。こうした背景から、若年層のヘルスリテラシー向上の重要性が高まっています。また、SNSの普及により健康分野でも偽情報・誤情報が拡散し、正しい情報を見極めることが難しくなっています。間違った情報に惑わされず正しい情報を見極めて取得する力を養うとともに、一人ひとりが発信者としての力を育むことで、こうした社会問題の解決の一助になればとの願いも込められています。





生徒たちはこれまでの授業の中で、6チームに分かれて、チーム毎に「市販薬のいろは」「栄養のいろは」「運動のいろは」「オーラルケアのHOW TO」「スキンケアのHOW TO」の5つのテーマから1つを選び、ショート・ロング2種類の動画を制作しました。発表はチーム毎に行われ、どのテーマに着目したのか、伝えたいセルフケアについて語った後、動画を上映しました。

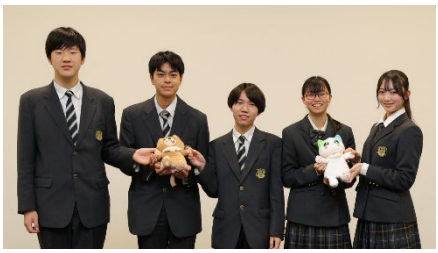
動画はクイズ形式、Vlog、ミーム、校内アンケートなど、普段からSNSに親しむ高校生ならではの多彩な表現で構成。共感を呼ぶ身近な悩みやユーモアも盛り込まれ、上映中には会場から笑顔がこぼれる場面も見られました。







その後、生徒、教員および当社社員が、「メッセージの明確さ」「表現・構成の工夫」「内容の信頼性・正確さ」「斬新さと面白さ」の4項目をもとに作品を評価し、ショート動画、ロング動画それぞれの代表作品を選出しました。
なお、全国8カ所で選出された各校の代表作品については、2027年1月末（予定）にオンラインで全国表彰を行う予定です。





【受賞生徒の感想】

ショート動画部門1位チーム：「スキンケアのHow to」 1班
動画制作を通して、SNSには誤った情報もあることを実感し、情報の正しさを自分で判断する大切さを学びました。クラスでもまだ知られていないセルフケアがあると感じ、同世代に伝えたいという思いも強くなりました。

ロング動画部門1位チーム：「スキンケアのHow to」 2班
普段はAIのまとめだけを見て情報収集をしていたけれど、授業を通して、複数のサイトを確認し、情報の正確性を自分で判断するようになりました。スキンケアは有名な商品を選びがちでしたが、自分の肌タイプや食生活まで考えて選ぶことが大切なので、同世代に伝えたいです。

【先生の感想】

桜丘中学・高等学校　滝沢 俊一 先生（探究科教諭）



動画制作というアウトプットを通して、これまで情報を見る側だった生徒たちが、発信する側へと変わりました。それによって、「この情報は本当に正確なのか」と疑問を持つようになり、内容だけでなくデザインや関心を引く伝え方についても学びが深まったと感じています。 SNSやAIに頼りすぎず、自ら正しい情報を収集・判断し、その知識を実際の行動につなげられる大人になってほしいと思います。

【担当者の感想】

第一三共ヘルスケア サステナビリティ推進担当　岩城・中村



情報が正しいかどうかを判断することは大人にとっても簡単ではありません。だからこそ、座学だけで終わらせず、自ら発信することでセルフケアへの理解を深めてほしいと考えています。情報を鵜呑みにせず、その情報源まで確かめにいく「一歩」をぜひ実践してほしいです。大きな目標ではありますが、セルフケアが日本の文化として根づいたらと考えています。（岩城）

クラスアンケートを取り入れるなど、生徒自身のリアルな悩みや声が反映された、クオリティの高い動画が印象的でした。当初は自信がなさそうだった生徒たちが、授業を重ねる中で専門用語にも親しみ、自分の言葉で堂々と発表する姿に成長を感じました。（中村）

今回の総括として、当社 サステナビリティ推進マネジャー 岩城は「学んだことを、情報発信者としてアウトプットすることで、学びを深めていることに感銘を受けました。SNS・AI時代で情報があふれているからこそ、正しい情報かを判断しそれを正しく発信する力を身につけてほしいです」と伝え、東京での最後の「出張授業」を締めくくりました。

当社では、100年後も人と社会と地球が健やかであり続ける未来の実現を目指してサステナビリティ活動を推進しており、その中の「健康課題」への取り組みの主軸である「セルフケア アカデミー」の施策として、高校生に正しいセルフケアを伝える「出張授業」を実施しています。
SNSが普及した現代の若年層においては、インプットとして正しい情報を収集し、アウトプットとして情報を発信する力を身につけることが必要です。当社では、今後も若年層へのその学びの機会を創出する、さまざまなセルフケア啓発のための取り組みを展開してまいります。

＜ご参考＞

【実施概要】

日時：2026年11月6日（金）14:00～16:00
会場：第一三共ヘルスケア本社（中央区日本橋3-14-10）3F会議室
参加校：桜丘中学・高等学校　高校2年生30名
実施内容：①生徒による制作動画発表・審査
　　②優秀作品発表・講評

桜丘中学・高等学校　公式サイト

https://sakuragaoka.ac.jp/

「出張授業」概要

実施日時：2026年5月～2026年12月
実施地：全国8ヶ所（青森、千葉、東京、静岡、福井、大阪、広島、佐賀）
プログラム内容：①セルフケア力とヘルスリテラシーの習得
　　②映像制作を通して同世代に発信するPRスキルの習得
※生徒が制作した動画は、生徒、教員および当社社員により、「メッセージの明確さ」、「表現・構成の工夫」、「内容の信頼性・正確さ」、「斬新さと面白さ」の4項目について採点し、優秀チームの映像は、当社の企業ウェブサイトで活用予定です。

▽昨年の「出張授業」の様子は、動画でご覧いただけます
https://youtu.be/kCwgzl5ya94
（約 3 分 46 秒）



【第一三共ヘルスケアについて】

第一三共ヘルスケアは、OTC 医薬品領域におけるリーディングカンパニーとしての強みを基盤に、機能性スキンケア・オーラルケア・食品分野へと事業領域を拡大し、生活者の健やかな人生に寄り添うトータルヘルスケア企業として成長を続けています。

私たちの理念を体現するコーポレートスローガン「Fit for You ひとりひとりの健やかな人生のライフパートナー」を掲げ、誰もが安心してセルフケア・セルフメディケーションに取り組める社会の実現に貢献してまいります。

【Wellness for GOOD について】

当社のサステナビリティ活動を今後より一層推進していくにあたり、2025 年 6 月に新たに策定したコンセプトです。「健やかであること」という意味の「Wellness」と、「良い目的のために」、そして「永続的に・ずっと」という意味を持つ「for GOOD」を組み合わせ、100 年後も人と社会と地球が健やかであり続けるために、人々の健康で豊かな生活に貢献する当社のサステナビリティ活動における考えを表しています。当社はこのコンセプトに基づき、「People」「Society」「Earth」の 3 つの領域において課題を特定し、解決へ向け取り組んでいます。

【セルフケア アカデミーについて】

「Wellness for GOOD」の 3 つの領域のひとつ、「People／健やかな体と心へ」における課題解決の一環として実施しています。近年、SNS をはじめ情報量が急増する一方で、健康分野にも偽情報や誤情報が広がり、正確な情報を見極めることが難しくなっています。“セルフケア力”（自分自身で健康を守り対処する力）を養い、ヘルスリテラシーを向上させることを目的とした「セルフケア アカデミー」では現在、セルフケア初心者である α～Z 世代の高校生に正しいセルフケアを伝える「出張授業」、オンライン教育コンテンツ、セルフケア検定の 3 つの施策を展開しています。「セルフケア」を正しく学べる学びのプラットフォームとして、自分自身で健康を守り対処する“セルフケア力”を養う取り組みを展開し、世の中のヘルスリテラシー向上を目指しています。
https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/wellness-for-good/our-activity/self-care-academy.html

≪本件に関する報道関係者のお問い合わせ先≫
第一三共ヘルスケア「サステナビリティ活動」PR 事務局
担当：小野（090-4948-0868）、楚南（090-6424-1412）、大久保（090-1746-2855）
E-MAIL: dshc-pr@replay-pr.co.jp